

公明党議員団

藤田 池田 広美・謙次・神山哲太郎・林 光仁 大西 厚子

代表質問(抜粋)

【藤田 広美 議員】

代表質問で、市長の基本方針と福祉など質問。以前より提案のとまチョップをデザインしたヘルプカードは12月17日より配布。市のホームページからもダウンロードできる。ヘルプマークの周知は市独自のリーフレットやポスターを製作し公共施設や学校、医療機関に設置の依頼をする。あいサポート運動は毎年千名を目標に運動を拡大。講師を養成するメツセンジャー研修や子供向けのキッズサポーター研修の取り組みを進める。女性活躍社会への取り組みで市職員の女性管理職の比率を2020年まで30%にする目標で毎年2%ずつ引き上げ19人増の74人にする。立地企業への助成制度は対象範囲や業種の見直しを検討する。商店街の活性化に向け補助金制度の要件や対象の緩和、各支援策など使い勝手の向上を図る。



在宅医療を推進するためグループ

診療体制の編成を協議する。医療的ケア児の短期入所支援の実現に向けて具体的な検討を行っている。霊葬場の整備では収骨室の増設を求め施設の改修計画を立てる。低額の墓地販売を提案し市民が求める霊園のあり方のアンケートを実施して霊園整備を進める。受動喫煙防止対策で分煙整備に対して国の助成に上乗せして上限額を設けて検討する。がん対策の推進ではがんフォーラムの開催を提案し検討すると答弁がありました。

一般質問 等(抜粋)

【神山哲太郎 議員】

災害時情報発信について
インターネッ
ツト環境にな
い人や防災ラ
ジオを通じた
地域情報の発信について質問。防災ラジオ単独の放送やラジオ利用の方法についてもポスター掲示なども含めた周知方法を考えていくとの答弁がありました。



自助の強化について

市民の防災意識向上のために防

災士養成講座の開催や資格取得に対する費用の助成を求めました。研修会の開催を積極的に働きかけ費用助成も検討したいとの答弁がありました。

精神保健福祉士の活用について

生活支援課に精神保健福祉士の配置や就労支援への活用について質問。精神疾患を抱えている人へ専門性の高い支援ができることや職員のリベルアップにつながるなどの答弁がありました。

【池田 謙次 議員】

主に胆振東部地震で被災地を回り声を聴き、学んだ多くの教訓をもとに質問しました。停電時の対応について、可動式バッテリーの導入をすると答弁。携帯電話不通時の移動基地局の締結、洗濯機の手配、障がい者の方々の対応、罹災証明書の迅速化、市内



・勇払の一部損壊への義援金配分などを質問。

ほかに生ごみ対策と航路直下の小中学校へのエアコン設置について質問しました。

【大西 厚子 議員】

乳がん対策で第11回定例会で提案した、乳腺密度が高い高濃度乳房などを受診者に通知するしくみについて質問。平成30年度から検診の結果票に項目を追加し通知しており、高濃度乳房の情報周知をイベントで行うことを検討すると答弁がありました。



交通安全指導員について、2020年度の更新時期に待遇改善を検討すると答弁がありました。

【林 光仁 議員】

平成29年度企業会計決算委員会、国保課の保健師配置の実態を質問。健康支援課と兼務で1名配属し、機能的に寄与していることから31年度の増員を考えていると答弁がありました。



水道メーターのリサイクルの本格実施の時期について質問。1万1千個ストックをしており、31年度からリサイクルの本格実施を行うと答弁がありました。